

平成二十九年度 第一回定時理事会の開催



4・5月号

発行所
水戸市千波町1918番地
茨城県総合福祉会館内
公益財団法人茨城県消防協会
編集発行人
消防協会長 葉 梨 衛
印刷所
(旬)堀 口 印 刷
1部 15円
(購読料は年会費に含まれています)

平成二十九年度公益財団法人茨城県消防協会第一回定時理事会が五月九日(火)に茨城県総合福祉会館において開催されました。理事会はまず、会議定足数の確認(理事数二十九名のところ出席者二十三名で、半数を超え会議が成立)が行われ、その後、葉梨会長から主催者の挨拶を頂きました。ご臨席頂いたご来賓は次の方々です。

- ・ 県消防安全課長 篠原 徳史 様
- ・ 県立消防学校長 飛田 剛利 様

続いて議事は、葉梨会長が議長となり、議案が審議され、それぞれ原案どおり承認・可決されました。

【第一回定時理事会議案】

- 第一号議案
平成二十八年度事業報告
- 第二号議案
平成二十八年度会計決算
- 第三号議案
事務局長の選任について
- 第四号議案
評議員会の招集

なお、定時理事会終了後に、平成二十八年度中に退団となられた消防団長に対し、感謝状が表示された記念楯が贈呈されました。表彰された前消防団長の皆様方には、長い間本当にご苦勞様でした。改めて感謝の意を表します。



退職消防団長へ感謝状贈呈

平成二十九年春の叙勲・褒章受章者が四月二十九日に総務省から発令されました。

本県からは、春の叙勲が十四名、第二十八回危険業務従事者叙勲が十六名、藍綬褒章が二名、合計三十二名の皆様が受章の栄に浴されました。

勲記・勲章は、五月八日(月)、県庁において橋本知事から伝達されました。

国(総務省消防庁)の伝達式は、春の叙勲が五月十五日「ニッショーホール」、危険業務従事者叙勲が五月十一日「霞ヶ関の合同庁舎第二号館」、春の褒章が五月十六日「スクワール麹町」においてそれぞれ実施され、同日の午後には、皇居拜謁も執り行われました。

受章者の皆様の永年にわたるご尽力とご功績に対し、心からの感謝と敬意を表します。

以下、順不同にて受章者の略歴並びに国の伝達式の様子をご紹介します。

※()は発令日現在の年齢



《春の叙勲》

瑞宝小綬章

- 杉山 博(七十)
元 常総広域 消防正監
消防歴 四十一年
常総市在住

- 野中 文夫(七十)
元 西南広域 消防正監
消防歴 四十二年
栃木県野木町在住

瑞宝双光章

- 木村 春男(七十)
元 坂東市消防団 団長
消防歴 三十年四月
坂東市在住

- 石丸 一男(七十)
元 古河市三和消防団 団長
消防歴 二十八年九月
古河市在住

- 上原 隆雄(七十四)
元 利根町消防団 団長
消防歴 四十一年六月
利根町在住



春の叙勲伝達式(ニッショーホール)

- 渡邊 忠男(六十七)
元 牛久市消防団 団長
消防歴 四十五年
牛久市在住
- 北澤 久(六十九)
元 龍ヶ崎市消防団 副団長
消防歴 四十三年五月
龍ヶ崎市在住
- 吉田 和夫(六十五)
元 守谷市消防団 副団長
消防歴 四十一年
守谷市在住
- 青柳 幸雄(六十九)
元 常陸大宮市御前山消防団 団長
消防歴 三十八年六月
常陸大宮市在住

瑞宝単光章

- 大森 利光(七十三)
元 那珂市消防団 団長
消防歴 四十三年
那珂市在住
- 大和田 衛(七十二)
元 鉦田町消防団 副団長
消防歴 三十七年三月
鉦田市在住
- 下部 三千雄(六十八)
元 城里町消防団 副団長
消防歴 四十三年
城里町在住
- 中島 清(六十五)
元 笠間市消防団 副団長
消防歴 三十九年十月
笠間市在住
- 大山 仁一(六十五)
元 つくばみらい市消防団 副団長
消防歴 三十二年
つくばみらい市在住
- 立原 和夫(六十五)
元 鹿行広域 消防監
消防歴 四十二年
鹿嶋市在住
- 平野 一美(六十五)
元 稲敷広域 消防監
消防歴 四十二年
龍ヶ崎市在住

《第二十八回 危険業務従事者叙勲》

瑞宝双光章



危険業務従事者叙勲伝達式(合同庁舎第二号館)

- 人見 健朗(六十五)
元 鹿島地方 消防監
消防歴 四十二年
神栖市在住
- 中村 平八(六十五)
元 常総広域 消防監
消防歴 四十二年
つくばみらい市在住
- 吉田 英男(六十五)
元 鹿島地方 消防監
消防歴 四十二年
神栖市在住
- 黒沼 勇夫(七十三)
元 日立市 消防監
消防歴 四十年五月
日立市在住

- 永井 富次(六十七)
元 ひたちなか市 消防司令長
消防歴 四十一年十一月
ひたちなか市在住
- 鈴木 徳松(六十五)
元 石岡市 消防監
消防歴 三十八年
石岡市在住
- 大曾根 栄(六十六)
元 那珂市 消防司令長
消防歴 四十二年
那珂市在住
- 畑岡 孝信(六十六)
元 笠間市 消防司令長
消防歴 四十一年九月
笠間市在住
- 堀江 四郎(六十六)
元 常陸大宮市 消防司令長
消防歴 四十年八月
常陸太田市在住
- 鷺 秀嗣(六十九)
元 北茨城市 消防司令長
消防歴 三十九年十月
北茨城市在住
- 柴山 保弘(七十四)
元 筑西広域 消防監
消防歴 四十一年七月半
筑西市在住
- 平澤 和年(六十六)
元 水戸市 消防司令長
消防歴 四十一年
水戸市在住

瑞宝単光章



藍綬褒章伝達式 (スクワール麹町)

藍綬褒章

○東郷 一男(六十七)

元 取手市 消防司令長

消防歴 四十一年

つくばみらい市在住

○江幡 幸佳(六十九)

元 高萩・日立 消防司令長

消防歴 三十九年

高萩市在住

○廣江 一夫(六十九)

現 結城市消防団 団長

消防歴 四十七年二月

結城市在住

○小野 國光(六十五)

現 北茨城市消防団 団長

消防歴 三十三年一月

北茨城市在住

県立消防学校 初任科入校式



学生宣誓

今年度の消防職員初任教育は昨年度に引き続き二期制となり、まず前期の第一期(水)午前十時から県立消防学校において、県内二十三消防本部から総勢百二十〇名の学生を迎え挙行されました。式典は、入校生紹介、学生宣誓に続き、式辞(飛田学校長)、知事告辞(高橋防災・危機管理局長)、続いて県消防協会会長、消防長会(水越副会長)の来賓祝辞がありました。今後、消防学校において、心身の鍛錬と消防職員として必要な知識・技能を習得し、半年後には、新時代にふさわしい消防の担い手として巣立っていくことを祈念します。

日本消防協会主催 消防団幹部候補 中央特別研修

日本消防協会主催による第十六回消防団幹部候補中央特別研修が、次の日程で実施され、水戸市、笠間市、小美玉市、古河市及び八千代町の消防団員が参加しました。

○男性消防団員の部

平成二十九年二月一日(三日) 二泊三日 (参加者)

水戸市消防団 班長 三橋 徹

笠間市消防団 分団長 星野 哲郎

小美玉市消防団 分団長 田中 弘一

○女性消防団員の部

平成二十九年二月十五日(十七日) 二泊三日 (参加者)

古河市消防団 班長 小田切幸子

八千代町消防団 団員 高野 尚子

今回の研修に本県から参加された方々を代表して、男性消防団員の部の三橋徹さんと女性消防団員の部の高野尚子さんからの寄稿文をご紹介します。

「第十六回消防団幹部候補 中央特別研修」に参加して



水戸市消防団 班長 三橋 徹

平成二十九年二月一日から三日までの三日間、都内虎の門日本消防協会において、第十六回消防団幹部候補中央特別研修が開催され、参加させて頂きました。当日は全国より代表が集まり、私は幹部候補中央研修に出てよいのかと不安で活動に着手しましたが、その

の活動には全国津々浦々の地名が表記されているのを見て、改めて自分も含め各地の代表なんだと思いました。会場に着き指定された席に座ると、研修目的実施要綱の確認等と説明され、最初の講義は日本消防協会秋本会長の講話でした。内容は興味深い所から心地よく入り、特に「災害・事故はいつでも、どこでも、何でも有る」というの覚悟を持って消防団活動して欲しいとの言葉と、これからのいよいよ研修が始まるんだと身の引き締まる感じがしました。その後の講義は「地域防災力の強化と消防団」この講義では「火災危険と消防需要の強化」と銘打ち、消防団の日常として非日常の活動について受講しました。消防団は住民に防災減災意識の啓発を促し、非常時には多面的かつ献身的に検索・消火・救助・瓦礫の撤去・避難所支援・避難誘導・水門閉鎖等多面的な活動があります。自然の狂暴化と社会の脆弱化の中で、火災を含む災害のリスクが多様化激甚化をしている現代では、より一層大事である事を実感し、今一度団活動に活かして日々考えることの重大さに気づかされました。研修は百三十三名の受講生が数種類のテーマに別れ、それぞれが普段の様に活動しているかを意見交換する時間が有りました。私は訓練の有り方を考え纏め提案する班に配属され、協議考察し様々な地域の事情を聴きました。中でも残念な事ですが、団員が少なくなっている昨今では、より実践的な消火訓練に軸を置きつつ風水害に対してもどう実施し精度を上げるべきかを討論しました。自分達の身近にある災害を見直し、市街地であるなら火災救助の技術向上、山岳地区であれば行方不明者の捜索、河川の近くなら水害対策と当たり前の事だが、それが大事だと皆一堂に納得しこれからは活かす様、熱心な研修となりました。

操法大会においても多くの意見が出され、団員のサラリーマン化が進む中どうするべきかの意見交換に移り、団員のサラリーマン化が今回の諸問題の根本的な原因だと言う事に気づき、まず団員は何時なら訓練が出来るのか、誰が何が出来なのか、団員個人個人の趣味特技の掌握が大事でお互いが教え合い、時には電話メール最近流行のソーシャルネットワークサービス等でのコミュニケーションを図る大事さを感じました。

こうして初めて同じ使命と志をもった人達と、活動について真剣に取り組み語り合う事ができ、思いもよらない意義ある意見、アイデアも沢山出てきました。研修がいよいよ終了しようとする時には、メンバーから自然発生的に連絡先の交換を始め各地の消防団活動の情報交換、活動の相談等活動の相談をする仲間と成りました。

各地の消防団幹部候補生に会えた事は一生の財産となる事、その機会を与えられた事を心から感謝し深く御礼申し上げます。

そして、最後の別れ際「さよなら」の代わりにこう言いました。「三日間お疲れ様でした、何か有ったら助けにいきます。」

「第十六回消防団幹部候補中央特別研修」に参加して



八千代町消防団 団員 高野 尚子

平成二十九年二月十五日から十七日までの三日間、日本消防協会主催の「第十六回消防団幹部候補中央特別研修」に参加させて頂きました。

北は北海道、南は沖縄まで、日本全国の女性消防団員が集まる光景は圧巻でした。私は消防団員歴一年十ヶ月とまだまだ

だ経験が浅いので、この研修に対して少なからず不安を抱いていました。しかし、同じ消防団員という仲間意識があったこともあり、すぐ打ち解けることができました。

研修初日の開講式では、辞令交付が行われました。総代の山本さんの宣誓は、とても力強く、叱咤激励された気がしました。

日本消防協会の秋本会長の講和では、東日本大震災や、豪雨災害を通し、いかに地域防災の力が重要なかを学びました。そして、地域防災においては、常備消防との連携や、消防団と地域住民の協力体制の強化が必要であり、消防団は重要な存在だと認識することができました。

二日目の池袋防災館では、地震体験や火災避難体験等をし、東日本大震災の映像資料を見ました。体験を通して、あらためて自然災害の恐ろしさを感じ、いざという時に正しい対応を取れるかどうか、自分や周りの人の命を守るかに直結するのだと実感しました。そのため、日頃の備えや防災訓練は、しっかり行わなければならないと思いました。

そして、全体を通して感じたことは、皆さんの消防団活動に対する姿勢が、真摯であり、女性消防団員であることに誇りを持っているということでした。そんな熱意を持った先輩方は、とても輝いており、新米の女性消防団員として触発されることが多かったです。しかし、一方で消防団の課題も多数あることが分かりました。その中でも多く挙げた課題は、消防団員の確保についてです。女性団員・学生団員数は増加傾向にありますが、全体的な団員数は減少傾向にあります。しかし、自然災害が頻発している現代では、自分の地域は自分たちで守ることが求められます。大災害が発生した場合、常備消防だけではとても被災者の救出は間に合いません。そんな時、真っ先に救出活動ができるのは、近所の方や消防団です。

こういった観点でも、地域を守る消防団員の減少は大きな課題です。「消防団II 消火活動」という固定概念は、より消防団を特別にし、地域住民の意識から遠ざけている気がします。消防団でも主に広報・啓発活動をしている団員もいます。また、災害時に協力できる人員として、防災クラブの人員を増やしたり、連携を取ったりすることも重要だと感じました。最後に、全国の同じ仲間との交流が持てたことは、とても有意義なことであり、内容の濃い三日間でした。

このような貴重な研修を受ける機会を与えていただいた、日本消防協会の皆様をはじめ、各関係機関の方々への感謝を申し上げます。皆様どうもありがとうございました。

編集後記

協会事務局職員が三名とも変わりました。前任者同様よろしくお願ひします。発行にあたり、消防団幹部候補中央特別研修について、ご寄稿いただきました水戸市消防団 三橋様、八千代町消防団 高野様にお礼申し上げます。皆様からの寄稿文や様々な情報を心よりお待ちしております。また、広告掲載を募集しております(掲載料:掲載一回税込み五千四百円、掲載サイズについては誌面四頁の掲載広告を参照して下さい)。是非、ご連絡ください。(一)

オリジナル シャツ
アポロキャップ
徽章類
消防グッズ各種

ハッスル黄門ストラップ取扱店

茨城県マスコット ハッスル黄門

水戸スポーツ株式会社

水戸市袴塚1-1-2
TEL029[224]3450 FAX029[224]3430

全国シェアNo.1の消防車メーカー
(株)モリタの各種消防自動車

常に最新技術を反映して様々な災害現場で活躍する消防車を制作します。

その他の取扱品目
小型動力消防ポンプ・消防用ホース
救助資機材・潜水機材・消防用被服
防災用品・消防用品・消防資機材

茨城県代理店
有限会社 鈴 機

〒315-0014 石岡市国府5-2-25
TEL:0299-22-3010 FAX:0299-22-5846

Panasonic

自動火災報知設備
非常電源設備
自家発電設備
CVCF設備
FAX、パソコン

パナソニック株式会社 特機商品代理店
株式会社入江電機工業所

本社 〒310-0031 水戸市大工町2丁目3番23号
TEL.029-224-4614(代表)
FAX.029-224-4613

千波営業所 〒310-0851 水戸市千波町海道付2027番地
TEL.029-241-3636(代表)
FAX.029-244-0540

土浦営業所 〒300-0061 土浦市並木1丁目2番20号
TEL.029-821-8498(代表)
FAX.029-822-6575

トキワ産業株式会社

小型消防ポンプ
充実のVシリーズ

V75ESからV10Fまで
豊富な機種でお客様のご要望にお応えいたします。

消防ポンプ自動車 消防用ホース
消火器 消防服装
消防資機材用品一式

茨城県代理店
トキワ産業株式会社

水戸市三の丸3丁目7番1号
TEL.029(224)3324(代) FAX.029(224)3360